

令和4年度小松市立日末小学校 学校評価 1(中間)

めざす児童生徒像

進んで学ぶ子 主体的に学び、思考過程を伝え合い、学びを深める子(思考過程の視覚化)
仲よく助け合う子 仲間と関わり合いながら、互いのよさを認め合い高め合える子(集団づくり)
明るく元気な子 自分の健康や命を大切に、何事にも根気よくチャレンジする子(心身の育成)

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	達成状況の分析	改善策
学校で設定 (学校重点項目)	学級活動・児童会活動 認め合い・高めの実現 団の表現 高め合う集	児童アンケート③の結果を90%以上にする	① 学級や学校がより良くなるように考えて行動していますか	設定した目標を達成することができた。学級目標を意識しやすい行事があったこと、学級目標を掲示することで見える化し、意識を高める工夫がなされたからだと考える。	2学期は、授業や普段の学校生活でも意識できるようにしていきたい。
			② 学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがありますか		
			③ 学級目標を意識して活動しましたか		
			集計		

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	達成状況の分析	改善策
重点項目 石川県共通	業務の改善 働き方改善 働き方改善	教職員アンケートを100%にする	① 80時間越えゼロに向け、時間外勤務の削減に取り組んでいる。	どの項目も100%であった、見通しを持って取り組めており、時間外勤務は少ない。少数数ではあるが自分の仕事に責任を持ち取り組めている。	昨年度の振り返りを基にさらに目指す学校の姿の実現を目指し、今年度の取組がプラスされるように創意工夫していく。ICTを活用し効率化を進めると共に全職員の共通理解を深めていく。
			② 学校組織の中で自分の役割が明確であり、創意工夫しながら取り組むことができています。		
			集計		
			集計		

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	達成状況の分析	改善策
小松市共通重点項目	学校研究	すべて100%にする	① 研究主題に迫る目指す授業スタイルを共有し、単元(授業)構想シートなどの具体的な取組を共通実践している。	全ての教員(担任)が一学期に1回、授業を公開し、互いの授業を見合うことができた。その際、自分の考えを視覚化できているか・本時のねらいが達成できているかの視点について改善案を出しあうことができた。そのためアンケートの項目は9割以上となっていると考えられる。	目標指標に達するよう、二学期も全ての教員(担任)が授業を公開し、見合い、改善案を出し合う授業研究を継続し、授業改善に努めていく。
			② 授業研究では、教職員一人一人が子供の姿を語ったり、改善案を示したりするなど主体的に取り組んでいる。		
			集計		
			集計		

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	達成状況の分析	改善策
小松市共通重点項目	指導力の向上	③について、児童・教員アンケートの結果90%以上	① 児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。	児童は全ての項目について9割以上であった。教員については項目③「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している」が低い。今年度の学校研究で重点としているのは児童の記述力(自分の考えや思いを相手に伝わりやすく書く力)であり、項目③にもつながっていく力であると考えられる。そのため、教員の見取りが厳しくなっている傾向にあることも考えられる。	授業中は活発に話をする児童の姿がよく見られた。そのため二学期は、その意欲を落とすことなく、より他者へ伝わりやすい表現方法を身に付けさせるべく、表現する場を拡大させ、伝わりやすい表現方法の具体的な言葉やしぐさを示し、発表内容の質をあげていく。 また、児童の記述力の向上にむけて、授業改善を行う。一学期に記述力を検証する評価問題を実施しているため、それをもとに、児童一人一人の記述力ができていないところを明らかにし、向上するよう授業改善を行っていく。
			② 児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。		
			③ 児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。		
			④ 児童生徒は、話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えを伝えている。		

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	達成状況の分析	改善策
小松市共通重点項目	学力的向上	①②の平均が中間・・・85%以上 年度末・・・90%以上	① 指導計画の作成に当たっては、学校の教育目標の実現に向け、各教科等の教育内容を教科横断的な視点で組み立てている。	①②共に、100%で目標指標を達成した。月に一度、学校力向上ロードマップ、カリキュラムマップで学校の教育目標、実践を確認する機会を設け、実践の評価、改善を行うことができています。	今後も、学校力向上ロードマップ、カリキュラムマップを活用し、今年度の実践の評価、改善を継続し、来年度に積み重ねるようにしていく。
			② 児童生徒や学校、地域の実態を捉えて教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。		
			③ 全職員が学力向上の取組の目的や意義を理解し、課題の解決を期待できると納得して共通実践に取り組んでいる。		
			④ 校区の小・中学校間で学力について情報交換し、課題について共有している。(小中連携)		

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	達成状況の分析	改善策
小松市共通重点項目	家庭学習	①「家で計画を立てて勉強している」②「家庭学習で学習用端末を活用する」80%以上にする。	① 家庭学習の取組として、学習方法や課題の課し方等を校内で共通理解を図っている。	①②共に、目標指標を達成した。①は、日々の先生方の声かけ、関わりにより学習する時刻、内容等を考え取り組むことができ、宿題も多くの児童が習慣化している。②は週に1度のタブレット持ち帰り学習が定着し、キュービナ、skymenu等を活用した学習が実践できている。	今後も、日々の実践を大切にしつつ、家庭学習がばり週間を活用し、計画を立ててという意識をさらに育てていく。また、学習用端末持ち帰り学習も継続して行い、学習内容についても教師間で共通理解を図っていく。
			② 学習用端末を活用した家庭学習に取り組めるよう課題を工夫している。		
			集計		
			集計		